

6

当会は、持続可能な地域農業・地域社会の実現のため、「SDGs宣言」を策定し、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて、事業・活動に取り組んでいきます。

また、「食」と「農」を通じた農業振興・地域貢献等に向けた取組みを継続するほか、SDGsを組織行動につなげ、持続可能な社会の実現に向けて取組みを進めるとともに、気候変動に対する取組みを実践していきます。

農業振興と地域貢献活動

農業振興への取組み

◆国消国産の重要性

コロナ禍での食料輸出制限をきっかけに、国内で消費する食料は可能な限り国内で生産する「国消国産」の重要性が再認識されています。

「食」と「農」を基軸とするJAグループでは、「食農バリューチェーン」の構築などを通じ「国消国産」が実現できるよう、一体となって取り組んでいます。



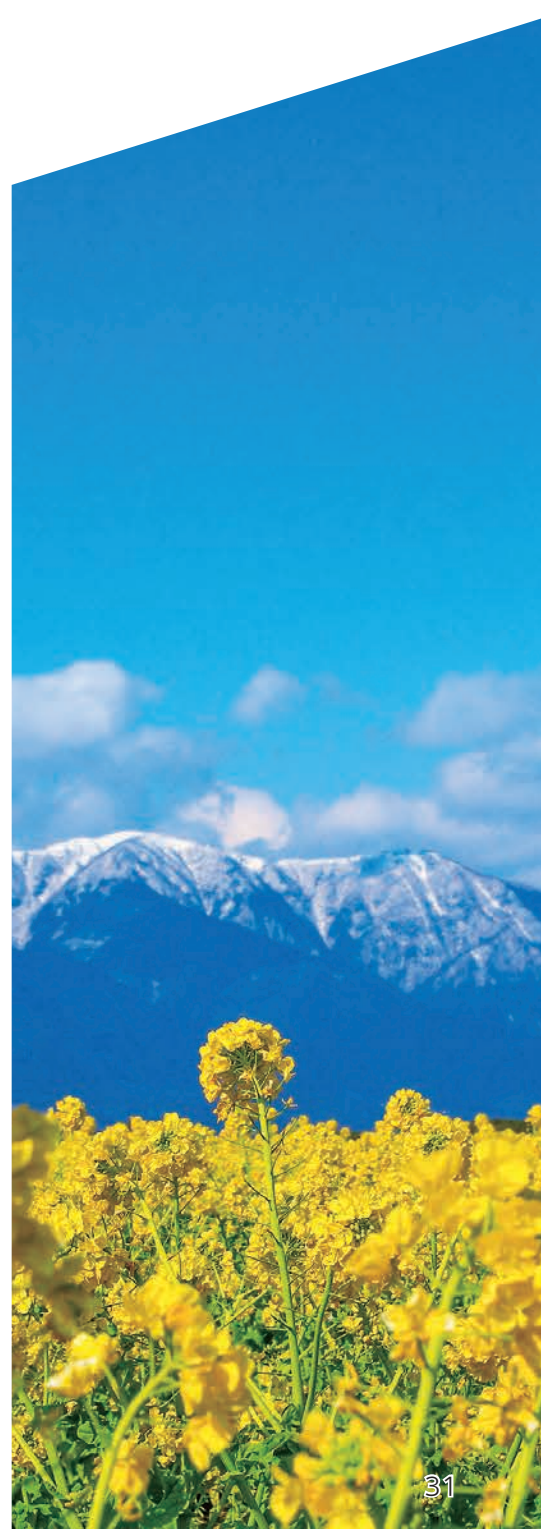
◆滋賀県との農業振興等に関する協定

JAグループ滋賀と滋賀県は、持続可能な滋賀の「食と農」および「農村社会」を将来にわたって引き継ぐため、SDGsの視点を踏まえ、農業振興等に関する協定を締結しています。



◆地域農業センター等農業関係団体への参画

毎年県内にある7つの地域農業センターの運営に参画し、地域農業・農村の活性化をはかるための事業支援を行っています。



地域に対する資金供給等への取組み



◆地域からの資金調達の状況

当会の令和4年度末の貯金残高(譲渡性貯金を含む)は1兆3,651億円となっており、うち1兆3,488億円は県内JA等会員よりお預かりしています。

また、組合員を含めた地域の皆さまの計画的な資産作りをお手伝いさせていただくため、目的に応じた各種貯金、投資信託等の各種金融商品の取扱いをしています。

◆地域に対する資金供給の状況

当会の令和4年度末の貸出金残高は1,412億円となりました。

組合員をはじめ地域の皆さまからお預かりしている大切な資金は、農家組合員をはじめ農業に関連する企業・団体、及び、県内の地場産業や団体、地方公共団体等にご利用いただいています。

地域密着型金融への取組み



◆農業者等の経営支援に関する取組み方針

当会は、農業者の協同組織金融機関として、「健全な事業を営む農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくこと」を、「当会の最も重要な役割のひとつ」として位置付け、当会の担う公共性と社会的責任を強く認識し、その適切な業務の遂行に向け取組んでまいります。

また、ロシア・ウクライナ情勢悪化による生産資材価格の高騰等の影響を受けている農業者に貸付を行う災害緊急資金(アグリマイティー資金)について、金利負担軽減を行っています。

◆農業関連資金等の取組み

JAバンク滋賀では、農家組合員向けの「農業近代化資金」、「アグリマイティー資金」や農業法人向けの「アグリビジネスローン」等の各種プロパー農業資金を提供するとともに、日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

また、JAバンクでは、アグリビジネス投資育成株式会社と連携し、資本提供の枠組みを整備(アグリシードファンド・担い手経営体応援ファンド)しています。

さらに、「農業・農業者応援プラン」を中心に農業者に対し、次頁の助成等に取り組んでいます。

「農業・農業者応援プラン」等一覧表

取組事項	対 象	助成内容等
JAバンク滋賀 農業資金利子補給	個人・法人	農業資金について、最大年1%・最長5年間の利子補給を行います。
JAバンク滋賀 農業資金保証料助成	個人・法人	農業資金にかかる基金協会保証料について助成します。
JA営農ローン (農業クイック)	個人	貸出金が1年以内で金額が50万円以内の農業経営資金について、手続きを簡便化し、スピーディーに対応します。
JA新規就農応援資金	個人	貸出金額は1,000万円以内で、新規就農者への融資を行います。
農業支援ポータルサイト 「アグリウェブ」	JA 個人・法人	インターネットを通じて、農業に関わる知識やお役立ちコラムや事例集などの情報を発信し、コンサルタントに相談できる「農業経営相談窓口」を提供します。

◆担い手のニーズに応えるための取組み

地域の農業者との関係を強化し、多様な資金ニーズに応えるため、JA 滋賀担い手サポートセンターにおいて、県内 JA の信用部門および営農・経済部門等と連携し、農業者への訪問活動に取組み、事業承継、法人化、経営改善等と多岐にわたった支援を実施しています。

こうした取組みを通じて、「系統金融機関としての金融機能発揮」と「総合事業経営を行う JA との機能分担のあり方」を引き続き追求することとし、協同組合としての最大の役割発揮に向けて、県域における支援機能を拡充していきます。



文化的・社会的貢献に関する取組み

- ◆『滋賀県学童野球選手権大会』および『SFA U-11サッカー選手権大会・JAバンク滋賀杯 新人戦少年サッカー大会』への協賛



湖国で次世代を担う子どもたちの健全な育成を願い、地域スポーツ振興を推進する目的で学童野球や少年サッカーの大会に対して協賛を行っています。



- ◆小学生向け食農教育教材本の贈呈

JAバンク食農教育応援事業として、次世代を担う子どもたちに、農業と食の問題や環境問題、農業と経済のかかわりなど、農業への理解を深めてもらうために教材本『農業とわたしたちの暮らし』を作成し、県内の小学校5年生を対象に贈呈しています。



- ◆「振り込め詐欺」等未然防止に向けた取組み

後を絶たない特殊詐欺から、高齢者を中心とした県民を守るため、ホームページ等を通じて「振り込め詐欺」等に対する注意喚起を促す啓発活動や、一定条件のもとATM等利用制限を行うなど未然防止に向けた取組みを実施しています。



重要なお知らせ

対象の方：過去3年以上、JA貯金口座でのお取引がない満70歳以上の個人のお客さま

特殊詐欺被害の未然防止に向けた取組みについて
(ご高齢のお客さま対象の振込制限等)

JAバンク滋賀では、警察等からの特殊詐欺被害の未然防止に向けた取組み要請にお応えし、一部のお客さまを対象に、下記とおりJAキャッシュカードでのATM取引を制限させていただくこととなりましたのでお知らせいたします。
全国的に特殊詐欺（振り込め詐欺、送金詐欺など）が多発する中、中には犯罪グループが、ATM機中に不審なご高齢の方をATMに誘導して多額の現金を振り込ませるなど、手口も多岐にわたる。被害がますます拡大していることが懸念されています。
今回の取組みは、このような詐欺被害を未然に防止し、お客さまの大切な現金を守りやすくなるための対策です。特にお客さまの安全が最優先で実施いたします。
なおJA職員が、本取組に關してキャッシュカードをお預かりしたり、明証書をお配りすることは一切ありませんので、ご注意ください。

一部のご高齢のお客さまを対象に、振込制限等を開始いたします。	
対象となるお客さま	過去3年以上、JA貯金口座でのお取引がない満70歳以上の個人の貯金ご担当者
利用制限の内容	上記に該当するお客さまは、JAバンクキャッシュカードを別冊にした「自分たちの「現金と振込（振込先印）（お計書）」を10万円に制限させていただきます。なお、窓口でのお取引は、通常通り可能です。
利用制限の開始日	平成30年10月30日（木）

対象となったお客さまは、利用制限開始日の1週間前、お電話、お来店にてご本人確認できる書類（運転免許証・健康保険証）をご持参の上、お取引のあるJA窓口までお申し出ください。

◆サステナビリティ・リンク・ボンドの引受

令和4年5月12日(木)に、国内の地方公共団体として初めて滋賀県が発行した「サステナビリティ・リンク・ボンド(SLB)」を引き受け、国連の持続可能な開発目標(SDGs)の推進に積極的に貢献しました。

SLBは、資金の用途が地球環境などの社会問題の解決に限定されるESG(環境・社会・統治)債の一種です。



◆びわこルールキッズへの協賛

琵琶湖固有の自然を取戻す活動として開催される『びわこルールキッズ』(滋賀県主催の外来魚のノーリリースの普及目的に開催される釣りコンテスト)に対して、熱中症・ウイルス感染症対策として冷感タオルやマスクの提供を通じて協賛しています。



◆子どもの虐待防止啓発活動の取組み

子どもの虐待の現状を社会に広く知らせ、虐待から子どもを救うためのオレンジリボンキャンペーンに参画しています。毎年11月~12月にかけてJAグループ滋賀役職員約4,000名がオレンジリボンピンバッジを着用し、子どもの虐待防止啓発活動に取り組んでいます。



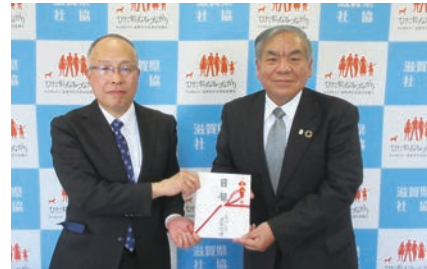
農業振興と地域貢献活動

◆「子ども食堂」支援の取組み

平成 29 年度より、社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会を通じて滋賀県内の「子ども食堂」を支援しています。

令和 4 年 10 月 22 日（土）には、『みんなあつまれ！子ども食堂フェスタ 2022』のイベント運営に協力し、県内農業高校の生徒が育てた近江米を購入し、提供しました。

また、令和 5 年 3 月 20 日（月）には、県内の子ども食堂等に、JA 直売所で利用できる商品券を寄贈しました。



◆聾話学校への園芸用品の贈呈

学生の門出へのお祝いに、滋賀県立聾話学校の卒業式に園芸用品を贈呈しています。



◆日本赤十字社の献血への積極的参加

令和 4 年 8 月 2 日（火）・5 日（金）、令和 5 年 2 月 6 日（月）・15 日（水）に、JA ビル滋賀および JA 滋賀コープサービスビルにおいて、滋賀県赤十字血液センターの移動採血車の来訪により、積極的に献血に協力をしました。



◆環境への配慮



環境保全およびエネルギーの有効活用を目的として、年間を通じて各自が気温に応じて体温管理ができる服装とする「通年輕装」を実施するほか、エコカーの導入など、地球環境に配慮した取組みを実践しています。

◆事務所周辺の清掃活動



職員がグループを編成し、定期的に事務所周辺の清掃活動を実施しています。



◆健康しがの国スポ・障スポ応援の取組み



JA グループ滋賀は、2025 年に開催される「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」を応援しています。



地域金融機関としての取組み

◆ATM ネットワークの充実



JA バンクのキャッシュカードをお持ちのお客さまは、全国の JA バンクの ATM によるご入金、ご出金、残高照会サービスを終日無料でご利用いただけます。

また、JF マリンバンク、三菱 UFJ 銀行の提携 ATM による平日、日中時間帯のご出金・残高照会のサービスも無料でご利用が可能です。



◆非対面チャネルの強化

PayPay・メルペイ・ファミペイ・J-Coin のキャッシュレス決済サービスと連携し、JAバンクの口座から即時チャージ入金)が可能となる「即時口座振替サービス」や、JAバンクと連携した収納機関のホームページから、インターネットを通じて口座振替の手続きが可能となる「Web 口座振替受付サービス」をご利用いただけます。その他にも、払込票等に記載のバーコードや二次元コードを読み込むことによって、スマートフォンで税金等をお支払いいただける「PayB 機能」を JA バンクアプリを通してご利用いただけます。

また、通帳の盗難紛失のリスクがなく、紙資源などを節約でき環境にやさしい「通帳レス口座」の取扱いを令和4年11月より開始しました。

利用者ネットワーク化への取組み



◆「滋賀県 JA グラウンド・ゴルフ大会」の開催

県内 JA では、高齢者の健康づくりや交流のお手伝いをするため、JA で年金を受取指定されている方々を対象に「年金友の会」等を組織し、様々なイベントを実施しています。

JA バンク滋賀では、その「年金友の会」活動支援の一環として、令和4年11月25日(金)に長浜バイオ大学ドームにおいて、新型コロナウイルス感染症対策を最大限実施し、3年ぶりとなる「滋賀県 JA グラウンド・ゴルフ大会」を開催しました。

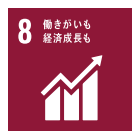


◆各種無料相談会の実施



県内 JA をご利用の方を中心に、相続や年金に関する無料相談会を実施しています。相続・年金相談のいずれも、専門知識を有した顧問税理士や社会保険労務士を派遣し、令和4年度は、県内合計約200会場で開催しました。

健康経営の取組み



◆健康経営優良法人に認定

従業員の健康は企業の重要な資産であるとの認識のもと、ワークライフバランスやメンタルヘルスケアの推進など当会全体で健康づくりに取り組んでいます。

